

応援職員広報誌

with *f*ukushima

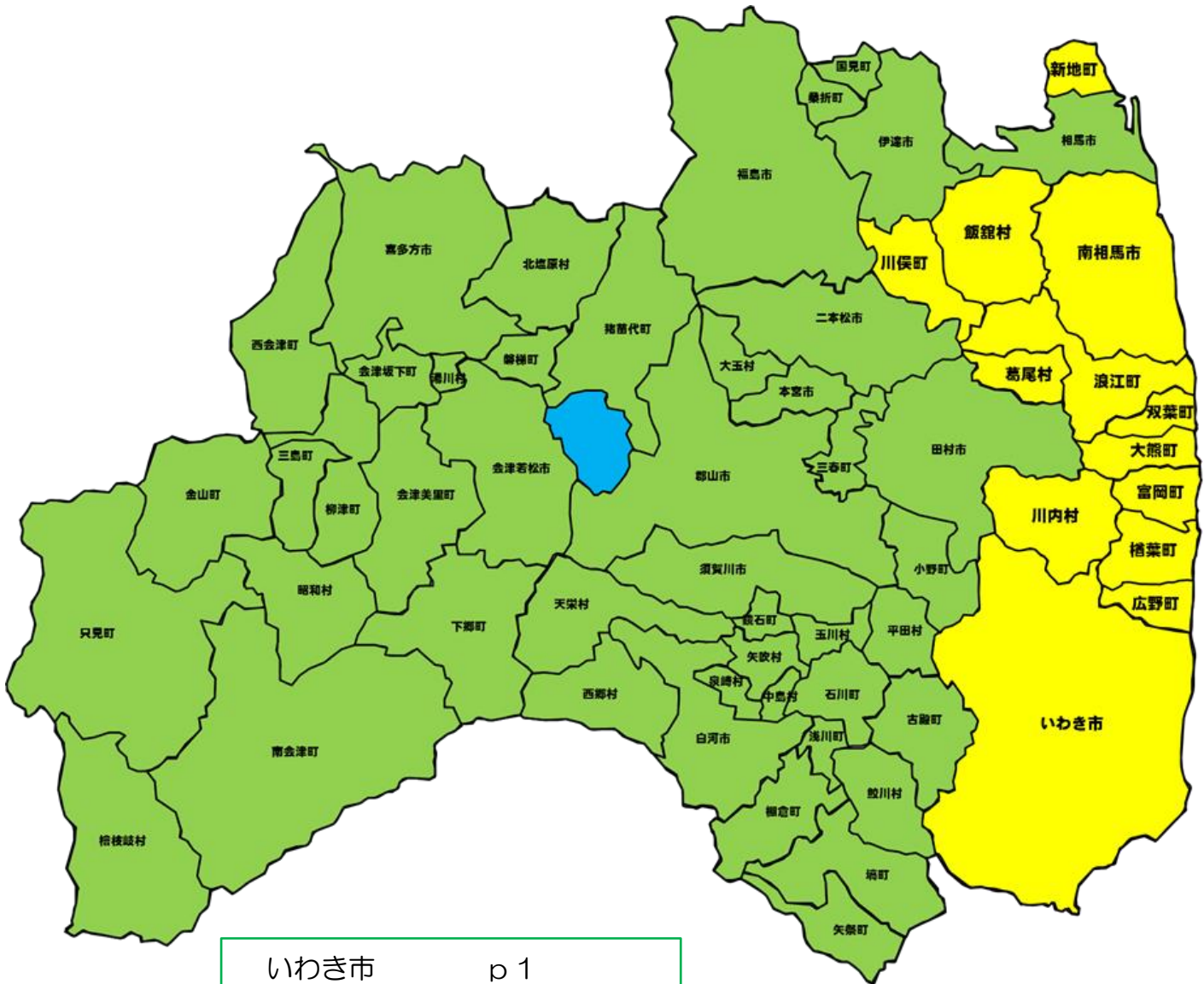


大熊町役場新庁舎

(避難指示解除に伴い、令和元年5月7日から新庁舎で業務を開始しました。)

令和元年9月  
福島県市町村行政課

# 目次



いわき市	p 1
南相馬市	p 2~8
川俣町	p 8~9
広野町	p 9
檜葉町	p 10~11
富岡町	p 12~14
川内村	p 14
大熊町	p 15~16
双葉町	p 16~20
浪江町	p 20~26
葛尾村	p 27
新地町	p 28
飯館村	p 28~29
Information	p 30

- ① 所属課（業務内容）
- ② 派遣元団体（出身地）
- ③ 派遣期間

# 応援職員紹介

さとう  
佐藤 さち子



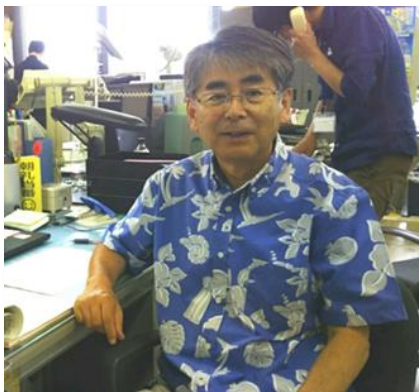
- ① 土木部住宅営繕課（設計工事管理等）
- ② 福島県（宮城県仙台市）
- ③ 平成28年 1月 1日 ~ 令和元年 12月 31日まで

いわき市

いわき市に建築職として派遣になり4年目となります。設計工事監理という今まで経験のない業務で最初は戸惑いましたが、職場の皆様にご助けいただき楽しく仕事をしています。

いわき市は、風光明媚で気候も穏やかで海の幸・山の幸に恵まれ、さらには温泉も豊富で映画「フラガール」で有名な「ハワイアンズ」もあります。仕事に関わらず観光でもよいので、福島県に足を運んで今の福島を実感して欲しいなと思います。

いがらし  
五十嵐 てつや  
哲矢



- ① 都市建設部都市復興推進課（震災復興土地区画整理事業）
- ② 福島県（福島県喜多方市）
- ③ 平成28年 2月 1日 ~ 令和元年 8月 31日まで

いわき市

いわき市に派遣されて4年目を迎えております。業務は、薄磯地区及び豊間地区の震災復興土地区画整理事業です。平成28年3月から両地区の宅地引渡しが始まり、換地処分は、薄磯地区が平成30年2月、豊間地区は平成31年3月に行われ、土地区画整理登記も無事に完了しました。

何か震災復興の役に立つことがあればとの思いから、任期付職員に手を挙げました。喜多方市職員時代は、3地区の区画整理を担当し、忙しく辛く思ったこともありましたが、それらがあったからこそ、今があると考えています。人生、何事も無駄なことなしで、これからもポジティブに行こうと思います。

おおもり  
大森 ようすけ  
洋介



- ① 土木部道路管理課（交通環境改善事業）
- ② 東京都港区
- ③ 平成31年 4月 1日 ~ 令和2年 3月 31日まで

いわき市

平成31年4月より派遣職員として港区役所からいわき市役所へ参りました大森と申します。出身地は千葉県の木更津市です。いわき市へは派遣されるまで一度も来たことがありませんでしたが、どこもなく地元と似ているところもあり、ご飯が美味しく、初めて食べた「めひかり」は絶品でした。職場は風通しの良い職場です。仕事のことからいわきの美味しいご飯など日々教えて頂いており、いわきに来てからすでに3kg太りました。

福島では健康に気を付けて1年間復興事業のお力になれるよう一生懸命頑張りたいと思います。

かなすぎ  
金杉

たろう  
太郎

- ① 経済部観光交流課（相馬野馬追に関することなど）
- ② 埼玉県さいたま市
- ③ 令和元年6月1日～令和2年3月31日まで

南相馬市



3. 11を南会津町にあるさいたま市の施設で迎え、その後の風評被害を目の当たりにしたことが今回の派遣を希望した動機です。

南相馬市は、暑い日でも常に心地よい浜風が吹き過ごしやすい、生活しやすい印象です。

この地で、一千有余年の歴史を誇る日本を代表する伝統文化行事「相馬野馬追」に携われることを光栄に思います。

少しでも南相馬市の方の役に立ち、足跡を残せるよう頑張りたいです。

ひるま  
比留間

はやと  
勇人

- ① 経済部観光交流課（移住定住の推進）
- ② 東京都杉並区
- ③ 平成29年4月1日～令和2年3月31日まで

南相馬市



就職後初めての上司が杉並区⇒南相馬市の派遣経験者だったことがきっかけで、南相馬市⇒杉並区の派遣職員の方と繋がり、実際に南相馬市のイベントに参加するなど縁ができました。

暖かく、ほどよくおせっかいで、逆境にも負けない元気を持った人たちのいる南相馬市が好きなので、「だったらいっそ南相馬市で働いちゃえ!」と思い立ち、派遣を志望しました。

「ヨソモノ」目線で南相馬市の良さをPRし、一人でも多くの方に知っていただけるよう努力します。

こうご  
向後

なおと  
直人

- ① 経済部観光交流課（相馬野馬追の振興など）
- ② 東京都杉並区
- ③ 平成30年4月1日～令和2年3月31日まで

南相馬市



被災地のために少しでもお役に立ちたい、そしてその中で何かを得て自分の力にしたい、という気持ちで南相馬市役所への派遣を決めました。南相馬市一番の行事である相馬野馬追や、交流自治体との関わりなど、とても面白い仕事をさせていただいています。

また、貴重な機会ですので、仕事以外でも福島県の様々なところを見て回り、今後関わる人に福島の良さを伝えていきたいと思っています。

はなおか  
花岡

たかゆき  
高行

南相馬市

- ① 経済部観光交流課（観光資源活用担当）
- ② 東京都杉並区
- ③ 平成31年4月1日～令和2年3月31日まで

平成26～28年度の3年間、派遣された南相馬市に再度派遣されることとなりました。

前回の派遣時には、まだまだ復旧事業の途上で、被災地域の復旧計画策定が主でしたが、今回はどのように復興を遂げていくか、という前向きな取り組みが多く目につきます。

担当する観光分野に関しては、南相馬は世界レベルで通用する巨大な観光資源を秘めているため、一つでも二つでも、市外・県外・国外への発信を図りたいと思います。



こくざわ  
石澤

としき  
知記

南相馬市

- ① 建設部土木課（道路の災害復旧）
- ② 東京都杉並区
- ③ 平成30年4月1日～令和2年3月31日まで

東日本大震災の報道を目にし、私にも何かお手伝いできることがあればと思い希望しました。

実際に南相馬市に来るまでは、正直なところ不安もありましたが、職場の皆さんに温かく迎えていただき、新しい環境にも慣れることができました。

福島県は自然豊かで、ツーリングしていてとても気持ちがいいです。1年間かけて福島県を見て回りたいです。

微力ではございますが、南相馬市の復興に尽力していきます。



おざき  
尾崎

しゅう  
修

南相馬市

- ① 建設部土木課（土木設計・監督業務）
- ② 東京都杉並区
- ③ 平成31年4月1日～令和2年3月31日まで

今年度から南相馬市に派遣で来ました尾崎と申します。

東京生まれの東京育ち。今年で25歳になりましたが東京以外で暮らしたことはなく、見知らぬ土地で生活していくことに最初は不安を抱えていました。

しかし、職場の方々から温かく接していただいていることや、私よりも先に派遣で来ている諸先輩の支えによって今では不安や不満も特になく、楽しく日々を過ごしています

今後も復興のために微力ながら尽力してまいります。



ながお  
長尾      みのる  
稔



- ① 復興企画部環境回復推進課(仮置場維持管理、公共施設の現状回復)
- ② 神奈川県
- ③ 平成31年4月1日 ~ 令和2年3月31日まで

南相馬市

昨年までは、自営で土木設計を営んでいましたが、それまでの経験を生かして、被災地の復旧・復興のお役にたてればと思い志望しました。昨年度は、宮城県気仙沼土木事務所で防潮堤の復旧工事を担当し竣工することができました。本年度より南相馬市にお世話になっていますが、独特の被災状況に驚いています。民間から行政職ということで戸惑いも多少ありますが、一日も早い南相馬市の復興のために尽くしていきたいと思っています。

はっとり  
服部      ただし  
唯志



- ① 経済部農林整備課(ため池除染係)
- ② 神奈川県
- ③ 平成27年7月1日 ~ 令和2年3月31日まで

南相馬市

今年で派遣5年目になります。4年間ずっとため池除染係でお世話になっています。派遣最後の年になりましたが今までに経験したことを活かして、残りの1年を精いっぱい頑張りたいと思います。

ごうお  
郷緒      かずお  
和夫



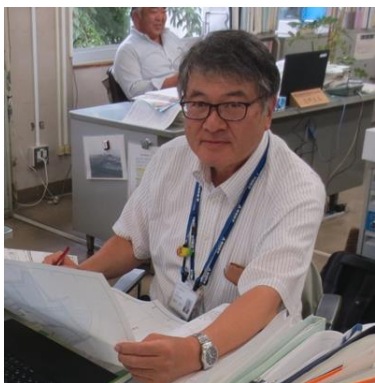
- ① 経済部農林整備課(農業農村整備工事の設計・施行監理業務)
- ② 神奈川県
- ③ 平成31年4月1日 ~ 令和2年3月31日まで

南相馬市

UR都市機構で30数年間街づくりに従事してきました。都市計画、土地区画整理事業、工事の設計・施工まで幅広く経験しました。東北3県で土木技術者が不足しているという状況は広く知れ渡っています。微力ながら今までの経験を復興作業に役立てたいと思い派遣を志望いたしました。南相馬は気候風土ともに穏やかで大変過ごしやすいと感じています。

すずき まさし  
鈴木 昌司

南相馬市



- ① 建設部都市計画課（開発行為）
- ② 神奈川県
- ③ 平成30年4月1日～令和2年3月31日まで

自分の知識・経験を活かし震災復興に寄与できないかと、栃木県出身ですが神奈川県の任期付職員となり派遣されています。

宿舎、ホテルに関する開発行為の相談が多くあり、原子力災害への取組がまだまだ続くのではと感じます。

「相馬野馬追」、「東北絆まつり」など、東北の祭りは熱気がすごいので、今年の夏もお祭りを堪能したいと思っています。

きくち ゆうた  
菊池 雄太

南相馬市



- ① 総務部税務課(市民税の賦課業務)
- ② 神奈川県相模原市
- ③ 平成31年4月1日～令和2年3月31日まで

他自治体での業務はなかなか経験できないことですし、何より被災地である南相馬市の市民の方や職員の方の力になればと思い派遣を希望しました。職場の雰囲気はとてもよく、仕事で分からないことがあっても周りの職員の方々が優しく教えてくださいます。そんな職員の皆様の業務負担を少しでも軽減できるよう、業務に取り組んでいきます。

また、今回の派遣期間を通して南相馬市や福島県、東北の様々な行事にも積極的に参加したいと思います。

ほり みく  
堀 未来

南相馬市



- ① 総務部税務課（市税等の徴収管理業務）
- ② 新潟県三条市
- ③ 平成31年4月1日～令和2年3月31日まで

震災の日は、高校の合格発表の日でした。当時の事は忘れもしません。大人になり、三条を出てこのような形で福島に携わることができ、誰もが体験出来ることではない貴重な機会をいただけたと思っています。

初めての土地、環境で不安もありましたが、南相馬市の方の優しい人柄に日々感謝しています。

少しでもお力添えできるよう頑張りたいです。

かめやま  
亀山

こうたろう  
光太郎

南相馬市



- ① 市民生活部市民課(後期高齢者医療)
- ② 新潟県燕市
- ③ 平成31年4月1日 ~ 令和2年3月31日まで

私は自分を一度全く違う環境に投じて勉強してみたいと思い、南相馬市の派遣を希望しました。

派遣先の市民課では初めて経験する業務に戸惑いましたが、係の方達の指導に支えられて少しずつ新しい環境に慣れてくる事ができたと思います。

私の派遣期間は決して長くありませんが、期間中は気を抜かず一生懸命勤めあげて勉強させていただくと共に、それが微力でも南相馬市の復興への貢献に繋がればと思います。

わだ  
和田

あきお  
顕雄

南相馬市



- ① 建設部建築住宅課(住宅支援関係業務)
- ② 新潟県小千谷市
- ③ 平成30年4月1日 ~ 令和2年3月31日まで

東日本大震災時に南相馬市からの避難者受入業務を担当するなど、南相馬市とのつながりを感じています。再任用職員の立場で派遣職員として赴任しておりますが、南相馬市は気候が温暖で生活しやすく、勤務している職場も居心地が良く、自分から希望し、派遣2年目を迎えたところです。

震災から9年目、まだまだ震災関連事業を多く抱えるなかで、微力ですが何事にも一生懸命に取り組んでまいります。

かとう  
加藤

りゅういち  
隆一

南相馬市



- ① 総務部税務課(市県民税特別徴収担当)
- ② 愛知県知多市
- ③ 平成31年4月1日 ~ 令和2年3月31日まで

自分自身の成長ができ、復興の力になればと思い、南相馬市の派遣を希望しました。最初は慣れない環境で不安でしたが、職場の雰囲気も良くて、すぐに業務に慣れることができました。

知多市を離れて生活をするのが初めてで、寂しい気持ちもありますが、派遣期間中に東北地方のいろんな美味しい物を食べに行き、東北マスターになりたいと思います。



かわかみ  
川上

りょうた  
凌汰

南相馬市

- ① 総務部税務課（市民税係）
- ② 愛知県みよし市
- ③ 平成31年4月1日～令和2年3月31日まで



初めての土地で未経験の業務ですが、職場の皆さんに優しく教えていただいて、新しい環境にも慣れつつあります。

休みの日はせっかくの機会なので福島を巡っています。福島のおいしい食べ物やお酒を楽しみながら、復興が進んでいるところ、途上なところを見て、気持ちを新たに職務に励んでいます。

税務課の仕事は、復興に直接つながる訳ではありませんが、南相馬市の職員の負担を軽減することで、間接的にも復興の一助となれたらと思います。

あおやま  
青山

ゆうま  
雄磨

南相馬市

- ① 経済部観光交流課（移住定住推進業務）
- ② 滋賀県近江八幡市
- ③ 平成30年4月1日～令和2年3月31日まで



派遣2年目となりました。職場の皆様にも温かく迎えていただき、充実した日々を送っています。配属先では、9年振りの海水浴場の再開などを担当しています。

南相馬市の海では、新鮮な魚介類が水揚げされ、また非常に恵まれた地理条件からサーフィンも盛んです。このような南相馬市の豊かな海をさらに活用できるよう、まず自分自身が楽しみながら魅力を発信できればと思います。

うじばし  
宇治橋

しんいち  
伸一

南相馬市

- ① 健康福祉部社会福祉課（障がい福祉業務）
- ② 長崎県長崎市
- ③ 平成31年4月1日～令和2年3月31日まで



震災当時大学生だった私は、何か力になりたいとボランティアに行きたいと考えていましたが、様々な理由で断念してしまい、入庁し職員派遣という制度があることを知り、職員として業務で少しでも復興の一助になればと思い、派遣を希望しました。

百聞は一見に如かずと言いますが、まさにこのことだと被災した場所を見て痛感しました。

現在の復興状況、そして福島県の魅力を長崎に届けるべく、この1年間で各地を見て、肌で感じて、多くの経験を得たいと思います。

はまなか  
濱中

ちひろ  
千紘

南相馬市

- ① 経済部農政課（農産物の放射性物質調査に関する業務等）
- ② 長崎県長崎市
- ③ 平成31年4月1日～令和2年3月31日まで



今まで九州でしか生活したことがなかったので、新しい環境に身を投じることができ、かつ復興のお力にもなれるということで派遣を決めました。皆さん親切で、とてもいい環境で仕事をさせていただいています。

今までニュースでしか知ることができなかった震災の影響や復興の状況等を直接見ることができ、大変貴重な体験ができていますと感じています。

東京以北に来たことがなかったので、福島県はもちろんですが、他にも東北の色々な場所を訪れてみたいと思っています。

みうら  
三浦

やすゆき  
康之

川俣町

- ① 原子力災害対策課（除染廃棄物仮置場の返還に係わる工事の設計・積算及び施工監理）
- ② 福島県（兵庫県神戸市）
- ③ 平成29年4月2日～令和2年3月31日まで



川俣町に赴任して3年目になります。所属が4月に産業課から原子力災害対策課に変わりました。早期の仮置場の解消を目指して、除染廃棄物の搬出、仮置場の原状回復に取り組んでいます。

住民の方々が復興の進展とともに、安心・安全を実感できるよう微力ながら一生懸命に取り組んでいきたいと思っています。

つづりぎ  
綴木

しんや  
慎也

川俣町

- ① 総務課（防災計画・国民保護計画の改定、防災ハザードマップの作成）
- ② 東京都中央区
- ③ 平成30年4月1日～令和2年3月31日まで



業務の成果品のハザードマップです！

福島県は、食・自然に恵まれており、四季を身近に感じられ、とても気に入っています。

職場の雰囲気に関しても、若い職員も多く活気に溢れ、また熱心に仕事に取り組んでおられ、刺激を受けています。

私は派遣2年目であり、職場の環境・業務等に慣れてきたので、昨年度以上に様々な業務にチャレンジをしていきます。微力ではありますが、復興に貢献できればと考えています。

あいざわ  
愛澤

ひるし  
洋

川俣町



山木屋地区井戸掘削事業  
確認検査

- ① 原子力災害対策課（住民支援係）
- ② 東京都江東区
- ③ 平成30年4月1日～令和2年3月31日まで

川俣町に派遣され今年で2年目となりました。昨年は経験したことのない業務に四苦八苦しながらも、職場の皆さんに助けられながら何とか1年間を過ごすことができました。

今年も被災地に寄り添う気持ちを忘れずに、微力でも川俣町、福島県そして東北の復興の力になればと思います。

こばやし  
小林

あすか  
明華

広野町



- ① 学校教育課（小中学校業務に係る委託及び修繕発注）
- ② 埼玉県三郷市
- ③ 平成31年4月1日～令和2年3月31日まで

学校教育に携わることが初めてで、毎日手探りで業務を行っています。配属先の人数が少ない分、何でも相談できる環境であり、大変業務を進めやすいです。

また、空気がおいしく海が間近に見える環境は心の健康にも良いのではないかな、と思っております。

以前の部署には5年在籍しており、ステップアップのため広野町派遣を選択しました。こちらで少しでもお役に立てるよう一生懸命頑張ります。

まぶち  
馬淵

りょうすけ  
亮佑

広野町



- ① 環境防災課（消防事務等）
- ② 岐阜県岐阜市
- ③ 平成31年4月1日～令和2年3月31日まで

生まれて初めて東北に来ました。最初、岐阜よりも数段寒い気候に驚きましたが、それ以上に暖かい人たちがいる福島県にはよい故郷の感じを受けました。

岐阜では毎日ランニングをしていましたので、福島でもほぼ毎日10km走ることを日課にしています。あと、福島ではギターも習い始め、まだまだきれいな音は出ませんが毎日練習しています。福島の海を眺めながら弾くのが夢です。

うえだ つとむ  
上田 勉

- ① 建設課（下水道・浄化槽・都市計画など）
- ② 福島県（東京都杉並区）
- ③ 平成28年4月1日～ 令和2年3月31日まで

檜葉町



チェルノヴィリにて

福島の復興に関心があって、任期付職員になりました。福島は原発事故もあって、復旧はまだまだ道半ばです。

福島は、春の桜と冬の会津の雪景色は素晴らしいです。会津の自然と只見線に魅了されています。

係（都市計画係）は個性のある職員が集まっています、仕事は楽しくできています。

震災遺構（震災で残った建物）に関心があって、今までに岩手・宮城・福島県の被災地に行きました。去年の年末年始には、ウクライナのキエフに行って、チェルノヴィリの現地ツアーに参加しました。

むらなか えいさく  
村中 栄作

- ① 建設課（工事監督員）
- ② 福島県（宮城県宮崎市）
- ③ 平成30年4月1日～ 令和2年3月31日まで

檜葉町



県土面積が広く気候も太平洋側の浜通りでは雪はほとんど降らない一方、会津地方では豪雪地帯で地域により風土が違うので、県内を巡って福島を知りたいと思います。

「大切なふる里を取り戻したい」という住民の皆さんの思いが少しでも早く実現できるよう、与えられた業務の中で取り組んでいきたいです。

えぐち あつし  
江口 淳

- ① 建設課（建築関係業務）
- ② 福島県（福島県福島市）
- ③ 平成30年4月1日～ 令和2年3月31日まで

檜葉町



ならはスカイアリーナ現場にて

報道等で大震災・原子力災害の状況を知り派遣を希望しました。赴任した檜葉町では新たな産業の創出、農業の振興等を通じて若者の定住を進めています。役場は若い職員を中心に明るい雰囲気です。

来年のオリンピックもあり、県内各地で新たな時代に向けての魅力ある街づくりが動いています。徐々に小さな子供たちが増えてきたこの町で、未来に向かって美しく新しい街づくりを進めたいと思います。

はら やすお  
原 康夫



- ① 建設課（排水設備審査、下水処理場維持管理）
- ② 神奈川県
- ③ 平成31年4月1日～令和2年3月31日まで

檜葉町

平成29年度から福島県に派遣され、今年度で3年目となります。初任地はいわき市の福島県の出先で、防災緑地を担当していました。現在は、下水道の排水設備の申請全般を担当しており、居住者の方と直接接する機会も多く、迅速かつ丁寧な対応を心掛けています。

職場の雰囲気は良好であり、自分が在職している間に知識や技術を伝承していければと思っています。

檜葉町は自然環境に恵まれ、サッカーの聖地と言われるJヴィレッジがある風光明媚な所で、休日はジョギングや近くの低山トレッキング、温泉施設巡り等、健康増進に努めています。

さ さ き よしのぶ  
佐々木 義信



- ① 建設課（建設係）
- ② 神奈川県
- ③ 平成31年4月1日～令和2年3月31日まで

檜葉町

派遣の動機は、前年度まで宮城県の農村整備や土木事務所で約6年間、災害復旧等の業務を行っていましたが、他県での業務も経験したいと思い、原発での被害が大きかった福島県内を希望しました。

福島県の印象は、放射線の影響でいまだに帰還困難区域が多くあり、道路沿いのバリケードで閉鎖された店舗等を見ると、震災前までは栄えていたことが十分に伝わり、原発の悲惨さが分かりました。

職場の雰囲気は、プロパー職員が少ない状況の中で、全員フットワークが軽く、明るい職場だと思います。

福島県でやってみたいことは、業務の内容は問わずに自分にできることは何でもやり、微力ながら福島県の復興に貢献できればと思っています。また、趣味は釣りです。海でも山でもどこにでも、機会があればお誘いください。

の さ き かずお  
野寺 一雄



いわき市  
フラワーセンターにて

- ① 建設課（道路等都市施設の維持補修・設計監理）
- ② 神奈川県
- ③ 平成31年4月1日～令和2年3月31日まで

檜葉町

福島県を離れていた2年間で、帰還困難区域を除いて居住が可能になり、半数以上の住民が戻って生活を再開しました。

帰還困難区域は、2年前には信号も消えていた国道6号は、信号が灯り、昼間は工事車両が出入りしています。

新たな中心部が整備され、人が集い、賑いを取り戻しつつあります。その一方、復旧・復興関連の工事も最終段階をむかえ、新たな都市施設の整備と並行して既存施設の補修も急がれます。

さとう かつみ  
佐藤 克己

- ① 都市整備課（防災備蓄倉庫新築工事3棟他）
- ② 福島県（福島県伊達市）
- ③ 平成30年4月2日～令和2年3月31日まで

富岡町



福島県任期付職員として平成30年4月から富岡町へ土木技師として赴任しました。前職は、郡山市任期付職員として2年間道路除染業務で約200kmを担当していました。現在の業務は微力ですが防災備蓄倉庫新築工事（3棟）の担当をさせていただいております。

この地域は町の職員の方々や地域の皆様が復興を成し遂げようと、心をひとつにして頑張っているところです。私も仲間として復興に務めてまいります。今後も町民の皆様が戻ってこられることを目標に努力してまいります。

そして、この地域だけでなく、福島県全体の環境や産業が良くなるよう強く希望します。

また、オリンピック・パラリンピックが開催されることもあり福島県に全国や海外の方々も来ていただき活性化するのを願っております。

すぎえ かずま  
杉江 一真

- ① 住民課（生活支援係）
- ② 埼玉県杉戸町
- ③ 平成30年4月1日～令和2年3月31日まで

富岡町



埼玉県杉戸町から富岡町に派遣されております、杉江一真です。

富岡町と杉戸町は平成22年11月に友好都市となりました。震災後に職員を派遣するようになり私で3人目となりました。富岡町役場では住民課に所属しており、仮設住宅の維持管理やコミュニティ支援の業務に携わっております。

1年目は分からないことばかりで、なかなか力が及ばない点がありましたが、現在では自分の業務に自信を持って取り組んでおります。これからも富岡町の復興の力になれるように微力ながら尽くしていきます。

きむら ふみお  
木村 文男

- ① 都市整備課（区画整理の換地手続き等）
- ② 神奈川県
- ③ 平成29年4月1日～令和2年3月31日まで

富岡町



富岡町民の帰還の開始と同時に富岡町役場に派遣となりました。町で見かけるのは、復興に携わっている人が圧倒的多数ですが、町民の方も徐々に見かけるようになってきているので、一步一步、復興が進んでいることを実感しています。

土日は、地元の方々とはテニスをしたり、派遣で来ている人達と山登りや祭りなど、復興を通じて知り合った人たちとの繋がりを楽しみの一つにしています。

まつなが  
**松永** よしゆき  
**善行**



富岡町

- ① 都市整備課（土木施設等の復旧・整備・施工監理等）
- ② 神奈川県
- ③ 平成31年4月1日～令和2年3月31日まで

被災地派遣職員として7年目、福島県での生活は2年目を迎えました。

町の復興は、徐々にですが目に見えるようになってきました。しかし、まだまだ時間が必要だと感じております。

福島県の復興の一助になれるよう職務に専念したいと考えております。

いづか  
**飯塚** ひとし  
**均**



富岡町

- ① 都市整備課（下水道復旧業務他）
- ② 神奈川県
- ③ 平成31年4月1日～令和2年3月31日まで

昨年、短期間ではあるが南相馬市で暮らしていた時と富岡町を比べると、日常生活を送るためのインフラの整備がまだまだではないかと実感しています。また、休日に買い物のため南相馬市に行くこともあり途中の近接地域を車で通り過ぎると震災直後のままと場所もあり、震災の傷跡の深さを再認識しています。ここ富岡町で勤務することにより、少しでも復興の力になればと考えています。

神奈川県から東北地方に来るには時間が掛かるため足繁く来訪することは難しいですが、ここ富岡町からだと会津、中通りはもとより福島近県を訪ねるのに意外と時間が掛らないので、福島及び東北の四季と温泉を楽しみ、且つ、美味しい日本酒も堪能したいと思っています。

すずき  
**鈴木** やすお  
**康雄**



富岡町

- ① 教育委員会教育総務課（学校施設の復旧・整備・施工監理等）
- ② 神奈川県
- ③ 平成29年4月1日～令和2年3月31日まで

福島県は自然、お酒、人柄とも最高です。群馬県に生まれ育ち、神奈川県で長く暮らしていた私にとって、福島県は大変しゃっきりします。

富岡町教育委員会での自分の仕事も今年度でかなり達成される見込みですが、建築技術者として、悔いのない仕事（自分では楽しい旅の一部だと思っています。）ができれば最高です。

やまざき  
山崎

よしひろ  
喜弘

富岡町

- ① 住民課（生活支援）
- ② 富山県南砺市
- ③ 平成31年4月1日～令和2年3月31日まで

富山県南砺市から富岡町に派遣されております山崎喜弘です。

震災直後、南砺市と縁のある南相馬市にて支援物資の仕分け業務、1年後には岩手県陸前高田市において支援自治体と陸前高田市との調整業務等を経験させていただきました。現在もその時お世話になった方々とは交流させていただいております。今回、震災発生から8年が経過している状況の中で、支援状況も少しずつ変わろうとしているように感じます。現在の町外に住んでおられる方々の支援業務を通じ、新しい富岡町の為、微力ではありますが努めてさせていただきます。課内をはじめ多くの職員の方々と良好な環境の中で業務出来ていることに感謝いたします。



たまかわ  
玉川

ひでとし  
秀利

川内村

- ① 建設課（建築関係業務）
- ② 茨城県那珂市
- ③ 平成31年4月1日～令和2年3月31日まで

今年の3月で定年を迎え、いろいろな選択肢の中で、技術者としての経験が多少なりと活かして、勤務時間等の無理を聞いていただけたことから川内村にお世話になることになりました。

また、学生時代を福島で過ごし、第二の故郷で微力ながら役に立てることをうれしく思っています。まだ、3か月しかたっていないので、いろいろ戸惑いつつも、できることをできる範囲で、驕らず気負わず、周りに迷惑をかけないように頑張っていきます。



みなかわ  
皆川

なおき  
直喜

川内村

- ① 建設課（道路の維持補修、占用に関すること）
- ② 神奈川県
- ③ 平成31年4月2日～令和2年3月31日まで

県内の出身なので特にありませんが、生まれ育った東北の復興に微力ながら尽くしたいと思い派遣に応募させていただきました。





しゅくなみ  
宿南

ともひろ  
智宏

- ① 復興事業課（工事設計・監理）
- ② 福島県（兵庫県養父市）
- ③ 平成31年4月1日～令和2年3月31日まで

大熊町



避難指示が一部解除され、大熊町役場の新庁舎も完成し、復興がスタートした大熊町で仕事がしたいと思いました。役場の職員は皆復興への思いが強く、私自身とても感化されています。仕事においても、これから計画していく事が多く、それに参加できることに喜びを感じています。

休暇は、福島県の自然、名所旧跡、グルメを満喫するため毎週出かけています。

大熊町、福島県の復興のため尽力していきたいと思っています。

すずき  
鈴木

しんいち  
伸一

- ① 復興事業課（復旧係）
- ② 福島県（神奈川県横浜市）
- ③ 平成31年4月2日～令和2年3月31日まで

大熊町



以前、国道6号線走行時に人気のない街を目の当たりにし、少し恐怖心を覚えていました。

今回、町での職員募集を見て、今までの経験が少しでも役立てばと思い応募しました。

大熊町では、一部で避難指示が解除されましたが、帰町する方は少ないのが現状です。

所属では、これからの町のために業務を分担又は協力して進めています。

あおた  
青田

まさあき  
真明

- ① 復興事業課（福祉ゾーン施設実施設計及び工事監理等）
- ② 福島県（福島県いわき市）
- ③ 平成30年4月1日～令和2年3月31日まで

大熊町



福島県任期付派遣職員として、大熊町に勤務し2年目を迎えました。勤務地も、昨年までのいわき出張所から、新年号が始まった5月に開庁した本来の地である大熊町新庁舎へ移りました。

ようやく、会津、郡山にいた職員の方々と同じ屋根の下での勤務となりました。いわきにいた頃と同様に、庁舎内ではどなたとすれ違っても、お互い何かの声の掛け合いがあります。窓が大きく光あふれる建物で、皆様の温かな雰囲気と大熊町復活への強い思いの中、勤務しています。

やの ひろゆき  
矢野 寛幸



大熊町

- ① 復興事業課（建築業務全般）
- ② 茨城県日立市
- ③ 平成31年4月1日～令和2年3月31日まで

技術者として、良い建築を造るという精神は、日立市であっても大熊町であっても変わりませんので、皆さんと協力して少しでもいい建物が残せるよう努めたいと思っています。

趣味は建築探訪です。福島県内の様々な現代建築や歴史的建造物を見て回りたいと思っています。

いなよし やすお  
稲吉 靖男



双葉町

- ① 建設課（災害復旧関連事業）
- ② 福島県（千葉県松戸市）
- ③ 平成30年2月1日～令和2年1月31日まで

双葉町に派遣されて2年目を迎えております。前年度は手さぐり感がありましたが、プロパー職員や応援職員に助けられ、なんとか目的は達成することが出来ました。今年は引き続き、災害復旧関連事業を担当することになり、昨年の経験を生かし、復興へのスピードアップを図りたいと思います。

また、今年は休日を利用して趣味のバイクツーリングで福島県を楽しみたいです。

ごとう ひでふみ  
後藤 秀文



双葉町

- ① 建設課（下水道施設の計画・設計・監理）
- ② 福島県（北海道網走市）
- ③ 平成31年2月1日～令和2年1月31日まで

今年2月に福島県任期付職員として双葉町に着任し、主に下水道の設計監理に携わっています。昨年12月まで岩手県任期付職員として沿岸の大槌町で上水道に携わっていました。

福島は、岩手沿岸のリアスの地形・気候と違って広々として暖かい地であり、体も気持ちもゆったりとします。

この豊かな歴史と文化に包まれながら、活気のある職場で双葉町の復興に微力ながら尽くしたいと思っています。

はしもと  
橋本

みきこ  
美喜子

- ① 健康福祉課兼生活支援課（保健師業務）
- ② 福島県（福島県田村市）
- ③ 平成27年11月1日～令和元年10月31日まで

双葉町



震災で避難している方や働いている方のお手伝いできればと、福島県の任期付職員に応募しました。

双葉町役場郡山支所にて、主に中通り地方、会津地方に避難している方への健康支援を行っています。健康相談や訪問、健康教室、健診など住民の方と接する機会が多く、日々学ばせていただいています。

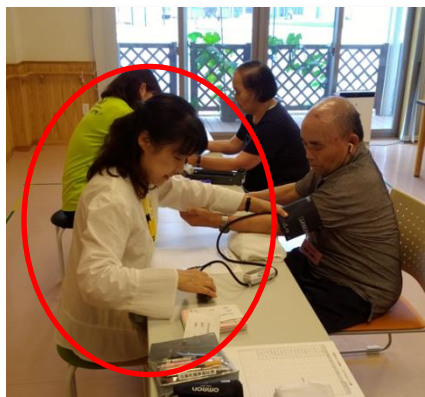
住民の方が笑顔になってもらえるようなお手伝いをしたいと思っているはずが、いつも住民の方に支えられて助けられています。とても感謝しています。

いわせ  
岩瀬

ゆみ  
由美

- ① 健康福祉課（保健師業務）
- ② 福島県（熊本県八代市）
- ③ 平成31年4月2日～令和2年3月31日まで

双葉町



38年間の行政保健師としての退職を機に、健康でもあるし、微力ながら何かお役に立てればと思い、同じ行政職としての県の任期付に応募しました。縁あって双葉町の保健師として平成31年4月～勤務しています。

熊本から3日かけて自家用車で福島県まで来ました。初めての東北暮らし、言葉も地理もわからず不安も一杯ですが、保健師として復興公営住宅訪問中に住民の方から「遠い熊本からな～～、長く居てな～」と言われ、嬉しく思いました。仕事はチームワークが一番と思っています。職場の方々はもちろん、住民の方達との出会いを大切に1つ1つ取り組んでいきたいと思っています。

いえき  
家木

まゆみ  
真由美

- ① 健康福祉課兼生活支援課（保健師業務）
- ② 福島県（三重県津市）
- ③ 平成31年4月1日～令和2年3月31日まで

双葉町



未だ避難生活を余儀なくされている方や、慣れない生活を強いられている方の支援のお手伝いが少しでも出来ればと思い、福島県任期付職員に応募しました。

福島県は初めて訪れる土地でしたが、来て早々に、横断歩道に立てば自動車が停車してくれる優しい土地柄に感動しました。

福島県を知るために、先ず自ら行動しよう！と、自転車で近辺を散策しながら走っています。もっと福島県の良い所を発見するために、行動範囲を広げていきたいです。

よしだ  
吉田

ちかお  
千賀男

- ① 教育総務課（芸術・文化振興に関する業務等）
- ② 茨城県北茨城市
- ③ 平成31年4月1日～令和2年3月31日まで

双葉町



生まれ・育ち・住まいもいわき市ですが、縁があり南隣の茨城県北茨城市役所で定年まで勤務し、再任用2年目に、人事部門より推薦があり、今年で3年目の派遣として業務に当たらせていただいております。

生涯学習係という町民の方と直接接する部門ですが、町民・町役場職員の方々に暖かく迎えていただき、自分なりに充実した業務を行っており感謝しております。

私が勤務していた北茨城市、また住んでいたいわき市と双葉町は、距離も近く言葉や習慣・食生活等の環境も変わりがないので、馴染むのも早かったので助かっております。

たいら  
平

ともあき  
智昭

- ① 住民生活課（特別通過交通制度に関する業務等）
- ② 茨城県石岡市
- ③ 平成31年4月1日～令和2年3月31日まで

双葉町



いまだに全町避難が続いていると聞き、何か自分でもできないかと思い、派遣に志願しました。

何もわからない自分に優しく教えていただき、良い雰囲気職場です。そんな皆さんに少しでも貢献できるように頑張っていきたいと思います。

休日は、福島県内で趣味の神社参りをしたいと思っています。

さくらい  
櫻井

きよし  
清

- ① 産業課（農業再生業務）
- ② 茨城県かすみがうら市
- ③ 平成30年4月1日～令和2年3月31日まで

双葉町



派遣1年目は単純に町を支援したいと考えていましたが、派遣2年目には、農業の復興の手助けが出来ればと考えていました。農業関係は、派遣元での経験が長く得意であったことから、この職務を希望し従事することとなりました。

手付かずの農地が8年過ぎて草木がはびこり農地と思えない酷い状況ですが、これから伐採と除染等を行い、農業の再生に向かって行くところです。

双葉町のいわき事務所は、穏やかな感じでとけ込みやすく良い雰囲気です。この地は、温暖で夏は涼しく冬は雪も降らず過ごしやすい場所であり、福島県は、酒も肴も美味しく果実も沢山あり、魅力あるこの地をさらに満喫していきたいと思っております。

わたなべ  
渡部 たつゆき  
辰幸



- ① 総務課（職員の採用に関する業務等）
- ② 神奈川県
- ③ 平成 30 年 4 月 1 日 ～ 令和 2 年 3 月 31 日まで

双葉町

双葉町派遣 2 年目。支援業務を続けていくうえで、オン・オフの切り替えは大切です。GWに家族を呼んで福島の魅力（味）ところを案内しました。

派遣職員同士の交流はいろいろな気づきがあり楽しさ倍増です。思いをひとつにした仲間がいることでこの仕事を続けていけるのだと感謝しています。

はるか  
春川 しんじ  
信二



- ① 建設課（下水道復旧等）
- ② 新潟県柏崎市
- ③ 平成 31 年 4 月 1 日 ～ 令和 2 年 3 月 31 日まで

双葉町

新潟県中越沖地震の被災時には、多くの自治体の派遣職員の皆さんのおかげで、復興を遂げることが出来ました。いつかは、このご恩を返せればと思っていました。

今回、現場に入って原発事故の重大さをまざまざと見せつけられた思いです。微力ではありますが、町の復興に尽力できればと思います。

職場では、皆さんの温かい福島言葉に癒されています。

なかやま  
中山 なおみ  
尚美



- ① 秘書広報課（広報誌の発行・発送業務、表彰式）
- ② 富山県黒部市
- ③ 平成 31 年 4 月 1 日 ～ 令和 2 年 3 月 31 日まで

双葉町

平成 25 年 4 月～6 月の 3 か月間、双葉町へ支援職員として来ていた経験があり、その後も全町避難が続いている双葉町に、微力ながらも復興のお手伝いが出来ればという思いで派遣を希望しました。

慣れない環境での仕事ですが、職員の皆さんは多忙の中でもいつも温かく接して下さり、日々感謝しています。

業務後はスポーツをして汗を流し、休日は観光やイベントに出かけて、福島・東北を満喫したいと思っています。

あさづま  
浅妻

しゅん  
瞬

双葉町

- ① 教育総務課（学校施設管理に関すること）
- ② 福井県敦賀市
- ③ 平成31年4月1日～令和2年3月31日まで

現在所属している教育総務課では、主に学校の施設管理に関することを中心に業務をさせていただいております。

職場の方や学校の先生方に優しくご指導いただき、生き生きと業務をすることが出来ております。

また、業務外では双葉町民の皆様と「インディアカ」というスポーツを通じて交流させていただき、双葉町に関すること等教えていただいたりして、楽しい時間を過ごさせていただいております。

双葉町の一員として1日でも早い復興に向けて、微力ながら尽くして参りたいと思います。



とくむら  
徳村

ゆうじろう  
勇二郎

浪江町

- ① まちづくり整備課（スマートコミュニティ導入）
- ② 福島県（神奈川県相模原市）
- ③ 平成28年1月1日～令和元年12月31日まで

福島県の任期付職員として浪江町に派遣され、今年で4年目を迎えています。以前は関東の私鉄で40年以上沿線開発に携わっており、定年を機に復興の遅れていた浪江町で、まちづくりの経験を生かせればと志願しました。

現在、浪江町では原発事故の被害を受けた町として、原発に頼らない、エネルギーの地産地消のまちづくりを目指しています。その一環として、昨年度は災害公営住宅に太陽光発電と蓄電池を設置し、入居者に利用していただいております。顔なじみになった入居者の方々からの感謝の一言を励みに、復興に尽力している日々です。



さとう  
佐藤

まさみ  
正美

浪江町

- ① まちづくり整備課（町道の復旧等）
- ② 福島県（神奈川県小田原市）
- ③ 平成30年4月2日～令和2年3月31日まで

前職場で福島県に派遣された職員が身近にあり、自分としても震災復興事業に関わりたくて応募しました。

こちらに来て1年経過しましたが、人となりが穏やかで過ごしやすいです。

今までにあまり経験したことがない土木工事の施工を担当出来て、自分自身の技術力を向上するため、文献を勉強する意欲が出てきて、とても良い経験ができております。



かねこ のりひこ  
金子 範彦

浪江町



- ① まちづくり整備課（町道改築）
- ② 福島県（茨城県日立市）
- ③ 平成 31 年 4 月 1 日 ～ 令和 2 年 3 月 31 日まで

派遣の動機は学生時代を仙台で過ごしたことや在学中に宮城沖地震を経験したことで、東北地方に未曾有の大災害をもたらした東日本大震災の復旧・復興に対して微力ながら貢献したいと考えたからです。さらに、阪神淡路大震災の復旧・復興に関わった経験も生かせるのではないかと考えました。

浪江町勤務は 2 回目ですが、今回は当時の福島県内の「道の駅」を約 2 年かけてすべて回りました。その時に福島県は広いなと実感しました。また、福島県は果実をはじめとする食べ物や銘柄が多い日本酒が美味しいことが印象的です。

やまき きょうこ  
八巻 京子

浪江町



- ① 介護福祉課（介護サービスや生活相談全般）
- ② 福島県（福島県福島市）
- ③ 平成 31 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日まで

東日本大震災時は福島市で被災しましたが、前職が通信事業を営む職場でしたので、インフラ等の復旧整備という大きな社会的役割に従事する社員の健康管理等に従事していました。退職後も福島県民のひとりとして、私の資格が役に立つことは無いかと思い応募し、平成 26 年から現職場で継続的にお世話になっています。産業保健の場から地域保健（行政）へと畑違いの業務で新人同様でしたが、職場の皆様の適切な指導と温かいまなざしが心地良く長居をしてしまっています。それ以上に、全町避難を強いられ、年月が経る毎に形が変化していく「大きな負担」を担う町民の方々への支援が、今後も必要と強く感じていることも長居をしているひとつの理由です。

おおたけ よういち  
大竹 陽一

浪江町



- ① 企画財政課（広報業務・統計調査業務）
- ② 千葉県成田市
- ③ 平成 31 年 4 月 1 日 ～ 令和 2 年 3 月 31 日まで

私の父親が福島県出身ということもあり、常々、福島県復興のために力になりたいと考えていたところ、浪江町で、今まで培ってきた知識や経験を活かせる職種の募集があったことから、強く希望しお世話になることになりました。

今は主に「広報なみえ」の編集・製作業務を担当しており、今後、浪江町の復興に向けた歩みを、少しでも多くの方々にお伝えできればと考えています。せっかく「ご縁」があり浪江町に着任しましたので、浪江町の方々のために、出来る限りお役に立てればと日々業務に取り組んでいます。

こばやし れいこ  
小林 玲子



- ① 教育委員会浪江にしじろこども園（保育士業務）
- ② 千葉県成田市
- ③ 平成31年4月1日～令和2年3月31日まで

浪江町

成田市で保育士として長年勤務し、もう子どもたちと触れ合うことはないだろうと思っていたところ、にしじろこども園への派遣募集を知り、もう一度子どもたちと遊びたいという気持ちと、スタートしたばかりのこども園で、今までの経験をもとに何かお手伝いすることができたらと思い応募しました。

のびのびと元気に遊ぶ子どもたち、そして若い先生方と一緒に、おもちゃコンサルタントとして、また、趣味のマジックやバルーンアートなどでみなさんに喜んでもらえたらと思っています。

むらかみ けんた  
村上 健太



- ① 介護福祉課（介護保険料全般、介護施設整備）
- ② 東京都新宿区
- ③ 平成30年4月1日～令和2年3月31日まで

浪江町

新宿区から派遣の村上と申します。本年度2年目となり、職場の皆さんに温かく迎えていただいたおかげで業務も町での生活にも慣れてきて、大変充実した生活を送らせていただいています。

地名や方言なども分かってきて、私も浪江町民になってきたなと嬉しく思っています。

今年度も町の復興に向け、また町の介護保険事業の正常化に向け、業務に全力で取り組んで参ります。

いわはし こうき  
岩橋 幸軌



- ① 企画財政課（情報発信業務）
- ② 東京都新宿区
- ③ 平成31年4月1日～令和2年3月31日まで

浪江町

少しでも復興の力になれば思い、被災地派遣を志願しました。経験のない業務で不安な気持ちでしたが、職場の上司の方や職員の方に支えてもらい、日々学びつつ、楽しく仕事をしています。

情報発信の仕事をしているので、浪江町の素晴らしさや面白さを、多くの方へお届けできるように頑張ります。

また、地元を離れて生活することは初めてで、貴重な機会なので、休日は浪江町・福島県の様々な場所に訪れて楽しみたいです。



すずき のぼる  
鈴木 登



- ① 住民課（ゴミ分別収集配送作業・除染作業支援）
- ② 神奈川県（茨城県ひたちなか市）
- ③ 平成31年4月1日～令和2年3月31日まで

浪江町

復興の完結とは何をもっていえるのか。果てもなく続く道のように、歩き続けることがいつまでなのか。なぜ、そんな事態に陥っているのか。被災から8年経過したが、住民の生活再建が思いのほか儘ならぬ現実をみると推進方策の再構築を感じております。復興再生や交流人口の拡大・維持にむけた地域存続のカギを握る取組みに、応援職員が「どう貢献するのか」特効薬はなかなか無いが、少しでも効果が上がるよう災害対応の支援業務に尽力していきたいと考えています。

てらい ひでき  
寺井 秀樹



- ① 農林水産課（営農再開支援事業）
- ② 神奈川県
- ③ 平成31年4月1日～令和2年3月31日まで

浪江町

私は、今年11月で65歳になります。健康年齢を70歳と想定しています。人生最後の冒険を東北の被災地だと考えて、神奈川県の被災地派遣任期付職員になりました。昨年度は、岩手県陸前高田市で勤務し、今年は福島県浪江町と震災被害の状況は違いますが、現場で働いて初めて解る大変さを感じています。少しでも、お役にたてればと考えて頑張っています。休日は、趣味の山登りや温泉と福島の自然を満喫したいと考えています。

もり まさひろ  
森 雅博



- ① 農林水産課（農政係、野菜・果樹・畜産担当）
- ② 神奈川県
- ③ 平成31年4月2日～令和2年3月31日まで

浪江町

福島県の復興は6年間時計を止められていたので、復興を手伝いたいと思い、福島県に来ました。所属では、とにかく一步一步進むしかないという雰囲気を感じております。福島県は広い印象です。隣町だと軽くみていると延々と車に乗ることになります。やってみたいことは、特に畜産再開です。歳取ってから牛小屋を見に来たいです。

むらかみ りゅういち  
村上 隆一

浪江町

- ① 住宅水道課（住宅関連補助金）
- ② 神奈川県
- ③ 平成31年4月2日～令和2年3月31日まで



平成30年秋に富岡町以北を訪れました。国道6号線から垣間見える帰還困難区域の荒んだ光景は現地の皆さんの心の内までを想像させました。日常生活を奪われた人達の想いはどれほどか、私の行政経験が役に立たないか、現地の役場職員を手伝えないか、そんな思いから派遣を希望しました。

現在は、町民の皆さんが町へ帰還することを促す補助金事務に携わっています。一刻も早く放射線量が低減し、避難している皆さんが安心して帰還できることを願っています。

ふるかわ かつひこ  
古河 克彦

浪江町

- ① まちづくり整備課（復興拠点道路事業改築工事の監督員等）
- ② 神奈川県
- ③ 平成30年4月1日～令和2年3月31日まで



派遣職員となって1年が経過しました。継続して浪江町にお世話になっています。職場の雰囲気にも慣れて、日々業務に取り組んでいます。職場は何でも気軽に話せる雰囲気なので助かっています。昨年からは休日を利用して福島の魅力求めて各所を中心にいろんな場所を訪れていますが、何処へ行っても素晴らしいので、感動を沢山いただいています。今年は行動範囲をもっと広げて東北全県を訪ねてみるつもりです。

しまうち まこと  
嶋内 誠

浪江町

- ① まちづくり整備課（積算・工事監督）
- ② 神奈川県
- ③ 平成31年4月1日～令和2年3月31日まで



S32・4月生まれの62才

高知県の（社）高知県建設技術公社にて32年間「測量・設計・積算・工事の監督」等業務に従事し、50才で早期退職し民間企業で3年間現場代理人・主任技術者を経験、平成25年4月にこれまでの経験が震災の復興に役立つと思い福島県に来ました。福島に来て2年間は「ふくしま市町村支援機構」にて積算業務を行い、平成27年4月より発注者支援業務として平成31年3月まで浪江町に常駐し、平成31年4月より神奈川県の派遣職員として浪江町に常駐しています。測量・設計・積算・工事監理等の経験を生かし震災復興の手伝いができると思い福島に来ました。

いとう おさむ  
伊藤 修



浪江町

- ① 産業振興課（産業団地の施工管理）
- ② 神奈川県
- ③ 平成31年4月1日～令和2年3月31日まで

私の勤務する浪江町は、帰還住民が未だ6%と非常に厳しい状況にあります。

敢えてその地域に飛び込んで、産業団地造成等に携わり、浪江町の産業再生及び人口増大化等に貢献したいと考え、希望いたしました。

さかい ひろつぐ  
酒井 浩次



浪江町

- ① まちづくり整備課（公共施設の整備）
- ② 神奈川県
- ③ 平成31年4月1日～令和2年3月31日まで

4月から浪江町でお世話になることになりました。これまでの経験が被災地復興のお役にできればと思ってまいりました。昨年まで派遣されていた宮城県気仙沼市と異なり、こちらは原発のこともあって、より厳しい中での復興事業が行われております。

そんな中、職場の皆様は大変元気に働いておられ、また親切丁寧に接していただき感謝しております。自治体ごとに様々な状況での業務内容で、未経験のことも多いのですが、精いっぱいやりたいと思います。

やまだ としまさ  
山田 俊正



浪江町

- ① 住民課（国保税・軽自税等税全般業務）
- ② 神奈川県横浜市
- ③ 平成30年4月1日～令和2年3月31日まで

石巻市役所で平成27年から平成29年の2年間の派遣を経て、今回が2回目の派遣となります。

浪江町は一昨年にようやく一部が避難指示解除されたことに伴い、復興に向けての取り組みが震災後6年にしてやっと始まったばかりです。これから本格的に浪江住民の帰還が始まり、全職員一丸となって住民サービス等に努め、震災前の活気溢れた町を一日も早く取り戻して欲しいと願うと同時に、私自身も微力ながら業務に邁進していく所存でございます。

すみよし  
住吉

しげき  
重紀



浪江町

- ① 産業振興課（産業団地用地買収、企業誘致、再生エネルギー推進）
- ② 神奈川県横浜市
- ③ 平成30年4月1日～令和2年3月31日まで

派遣2年目に入りました。

浪江の町は飲食店が増えてきて、イオンも出来、ホテルや道の駅も建設中。今度の3月には常磐線も全通するし、気候の良さも相まってドンドン快適になってきていますよ！

ほさか  
保坂

かずお  
一男



浪江町

- ① 住民課(固定資産税課税事務)
- ② 神奈川県川崎市
- ③ 平成30年4月1日～令和2年3月31日まで

一年はあっという間に過ぎてしまい、若干のトラブルやミスはありましたが何とか今年からの課税に間に合いました。業務上町内の色々な場所に行きますが、復興は震災から8年ではなく避難指示解除から2年が経過という状況で、これからではないかと思えます。

話は変わりますが、単身赴任にも慣れ、余暇は誰にも邪魔されずに趣味等に使えるため(食事の支度や洗濯等はしなければいけないですが)、静かな時間を楽しんでいます。

かんだ  
莉田

まさひろ  
雅弘



浪江町

- ① 産業振興課（商品券・イベント・観光等）
- ② 岡山県赤磐市
- ③ 平成30年4月1日～令和2年3月31日まで

浪江町に派遣となり早や1年が過ぎました。

日々、目の前のことに取り組んでいると年が変わっていたように感じます。

イベントについては「段取り八分」といわれるように、準備が最も大変でありかつ重要であると体感しました。現在は係員や関係団体等と各種の企画を検討・議論することを楽しく感じています。

1年目は業務に追われていましたが、今年度は業務と休暇のメリハリをつけ、福島県内の様々な場所を巡ってみたいと思います。

うめみや  
梅宮

よしあき  
善顯

- ① 地域振興課（道路等の管理・維持修繕）
- ② 福島県（福島県郡山市）
- ③ 平成30年4月1日～令和2年3月31日まで

葛尾村



定年退職後、再雇用されていましたが朝のニュースで任期付職員の募集を知り退職、受験勉強に没頭、東京会場で受験、合格そして平成25年4月1日付で採用され、現7年目、東京の家族の理解と協力の下、単身赴任で葛尾村で頑張っています。

昨年は、癌を発症、10月に12時間の手術、その後、毎月1週間抗癌剤全身投与のため先月まで入退院を繰り返していました。村長及び直属の課長をはじめ職場の方々には多々、ご迷惑をお掛けしましたが手厚いご厚情をいただき感謝しきれません。

癌の再発・転移率3%ですが70歳まで頑張る予定です。現67歳ですが許されるならば、70歳まで葛尾村のために恩返しを兼ね微力ではありますがお手伝いできればと思っています。

【ふれ～ふれ～うつくしまふれ～ふれ～かつらお】

おおつか  
大塚

よしこ  
佳子

- ① 住民生活課（保健師業務）
- ② 福島県（山口県山口市）
- ③ 平成31年4月1日～令和2年3月31日まで

葛尾村



平成28年度から県の任期付き職員として復興支援に携わり、今年度から葛尾村に派遣となりました。

業務としては、乳幼児から高齢者の健診や、健康教室、家庭訪問等に従事し、地域保健活動を学ばせていただいています。

葛尾村は山や川が美しく、道路や花壇も綺麗に整備され、とても魅力的な村です。そこには住民の方々の地元愛を強く感じます。

葛尾村で保健師活動ができることに感謝しながら、住民の健康づくり、そして復興に向けて少しでもお役に立ちたいと思います。

かさば  
笠羽

かずひる  
一博

- ① 総務課（総務企画係）
- ② 神奈川県横浜市
- ③ 平成30年4月1日～令和2年3月31日まで

葛尾村



葛尾村派遣2年目を迎えました。

出来る限りを尽くして、葛尾村の復興に貢献したいと思います。

福島県はおいしい食べ物がいっぱいなので、体重管理に気を付けながら、今年もがんばります！

さとう たけお  
佐藤 丈夫



- ① 建設課（土木設計積算）
- ② 福島県（新潟県三条市）
- ③ 平成29年4月1日～令和2年3月31日まで

新地町

今年で三年目となりますが、昨年度新地町で整備している防災緑地内に震災モニュメントを建立する業務を担当しました。新地町でシンボリックな鹿狼山と震災震源地を結ぶ線上にモニュメントを設置するというものでしたが、その方向を西に伸ばすとなんと郷里三条市を通り日本海へ抜けることがわかりました。まったくの偶然ですが、自分がここにいてその仕事を担当することになるとは不思議な縁を感じました。

こんの とくろう  
今野 得郎



- ① 建設課（町道の維持管理修繕）
- ② 福島県（秋田県秋田市）
- ③ 平成29年4月1日～令和2年3月31日まで

新地町

新地町は、浜通りの北端にあり宮城県と接しています。仙台市から約90分かけて通勤しています。職場の皆さんは親切で、何でも教えてください。

今夏9年ぶりに海水浴場がオープンで、復興に向かって歩みを進めている実感がします。昨年末に福島県産の日本酒を親戚や友人たちに送ったら大変好評でした。夏には、桃を送って県産品の販売促進に貢献したいと思っています。

こもりや ひるゆき  
小森谷 宏之



- ① 建設課（村道機能回復工事ほか）
- ② 福島県（東京都練馬区）
- ③ 平成30年4月1日～令和2年3月31日まで

飯舘村

派遣2年目となります。東京都庁の再任用を任期満了し、在任中は出来なかった復興再生のお手伝いをしたいと思い、福島県任期付職員に応募しました。飯舘村は自然が穏やかで、夏は涼しく避暑に最適と感じました。村の職員は若い人が多く、村長以下、全員が再生に向けて頑張っています。縁あって飯舘村にお世話になりましたので、少しでも村のお役に立てることを願っています。

今年は单身生活も慣れてきたので、食物、酒、温泉など福島県の魅力をじっくりと味わいたいと思っています。

おおつき  
大槻

しげひる  
重宏

飯舘村

- ① 建設課（建築工事監督員業務）
- ② 福島県（福島県伊達市）
- ③ 平成27年4月2日～令和2年3月31日まで



前職では福島県のために仕事はしておりませんでしたので、福島県の復興に少しでも役立つようと任期付職員に応募しました。そして、平成27年4月から飯舘村に派遣され勤務を始めました。派遣当初は、村はまだ避難中でしたので、村役場での勤務者も復興対策課と除染推進課の2課（20名）での仕事開始でした。通勤路にはイノシシ・猿等が出没しそれらを避けての通勤でした。最初の仕事は、飯舘村の復興拠点の深谷地区の残土受け入れと造成工事でした。将来、道の駅・村営住宅を建設する場所となるため、建築職の採用でしたが、土木関連の仕事でした。土木関連の仕事は初めての経験でしたが、上司及び職場の同僚に支えてもらい工事を終えることが出来ました。造成終了後は、飯舘村の道の駅「まいでい館」・深谷村営住宅の建設の工事監督員を行い、建物の完成に寄与しました。

現在は、道の駅の北側に多目的こども公園の建設中で、子供のための屋内運動施設と、こども公園整備の監督員をしています。5年間の飯舘村での勤務が出来たのは、村職員の温かい助言と勤務しやすい職場環境があったからだと感じています。飯舘村は、平成30年3月31日に帰村宣言を行い、村民が帰れる村となり現在まで、約1200人が帰村し戻り生活を始めています。通勤時のイノシシ・猿に遭遇することもめっきり少なくなりました。

うえはら  
上原

あきひる  
彰洋

飯舘村

- ① 復興対策課（営農再開支援等）
- ② 埼玉県吉川市
- ③ 平成31年4月1日～令和2年3月31日まで



復興のために、何でもいから力になれないかと思い希望いたしました。

職場は飯舘村で山の中にあり、自然が豊かで地元との違いに発見の日々です。職場の雰囲気も職員の皆で復興に向かって少しでも早く進むように取り組んでいるのが伝わってきます。

福島では仕事をしっかりすることはもちろんですが、県内の色々なところに行って福島県の色々なものを見て感じ、家族や友人、埼玉の職場の仲間発信していければと考えています。

# Information

## 福島県被災市町村 復興状況視察事業

被災地における復興の現状及び課題への理解を深めていただき、福島県内被災市町村への職員派遣につなげることを目的として、8月8日（木）～8月9日（金）に福島県被災市町村復興状況視察事業を開催し、16団体23名の方が参加されました。



福島県環境創造センターで話を聴く参加者



平成31年4月20日に全面営業再開した  
Jヴィレッジ



福島第一原子力発電所原子炉建屋

### 受講者の声

職員、派遣職員の協力が復興に必要不可欠であると感じることができた。

道路の整備等まだこれからの事業があることが現場に行って分かった。



東京電力廃炉資料館で話を聴く参加者

浪江町、福島第一原子力発電所の現状、復興・復旧状況を視察でき、着実に進んでいることを実感することができた。

現状は依然として厳しく、派遣の必要性を認識できた。